

今号の作業

チェーンカバーを取り付ける



今号では、リヤフォークにチェーンカバーを取り付ける。ドライブチェーンを取り付けることもできるが、リヤフォーク表面を傷つける恐れがあるので、今号ではカバーの取り付け作業のみを行う。また、22号と23号で提供したリヤダンパーに、ステッカーを貼り付ける。

今号のパーツ



- ①チェーンカバー×1
- ②リヤダンパー用ステッカー×2

※モデルの設計上、パーツの形状が実車とは異なる場合があります。
※「組み立てガイド」で紹介しているパーツは実際に付属するパーツと一部仕様異なる場合があります。

使用する道具

- ・カッターナイフ
- ・カッティングマット
- ・直線定規(長さが10cm以上のもの)
- ・ピンセット
- ・マスキングテープ

用意するもの

- ・リヤフォーク(30号で組み立てたもの)
- ・リヤダンパー×2(22号と23号で提供し、保管しておいたもの)
- ・ビニール袋(組み立てたリヤフォーク&リヤタイヤを収納できる大きさのもの)



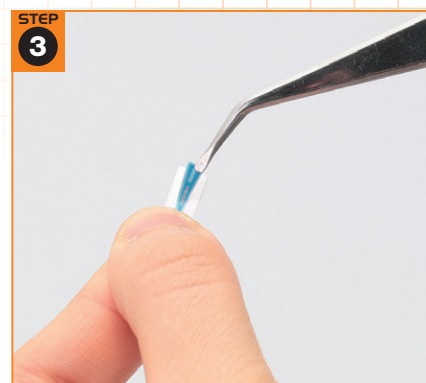
STEP 1
マスキングテープを10mm幅にカットする

マスキングテープをカットし、100mm×10mmのテープを2本用意する。まず、マスキングテープを100mmの長さで切ってカッティングマットに貼り付け、定規とカッターナイフを使ってテープ幅を10mmになるようカットすればOKだ。

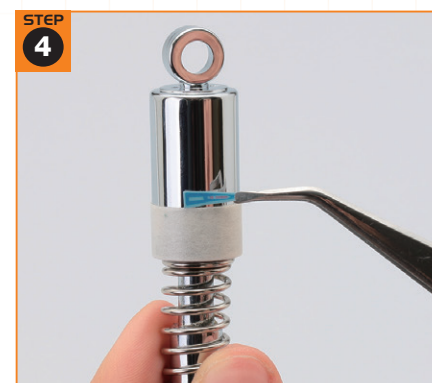


STEP 2
ダンパーケースの下端に合わせる

22号と23号で提供したリヤダンパーを用意し、ダンパーケース部の下端に合わせて、10mm幅にカットしたマスキングテープを軽く巻き付ける。



STEP 3
ピンセットを使い、②リヤダンパー用ステッカーをゆっくりと台紙からはがす。



STEP 4
巻き付けたマスキングテープを位置合わせのガイドにし、ステッカーを貼り付ける。ステッカーの向きは、写真のように三角形の頂点を右側にする。

STEP
5



リアダンパーへのステッカーを貼り終えた状態。ステッカーの位置が2本とも同じ位置になるよう慎重に作業しよう。

STEP
6



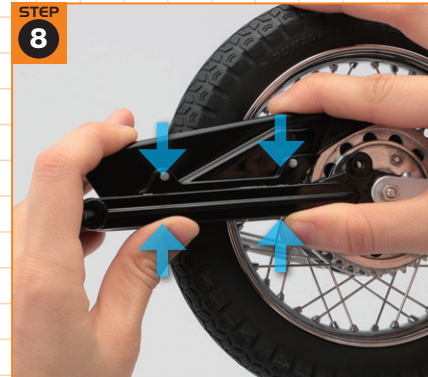
30号で組み立てたリアフォークを用意し、左サイド上部に設けられた2カ所の穴と、①チェーンカバー下部にある2本のピンを合わせる。

STEP
7



リアフォークに対し、チェーンカバーを垂直に押し込む。このとき、ピンの真上部分を押し込むようにしよう。

STEP
8



チェーンカバーの上部とリアフォークを挟むように持ち、真っすぐに力を加えて奥まで差し込む。

今号の完成



これで今回の作業は完了だ。ドライブチェーンは、今後の作業で取り付けることになる。組み立てたパーツは汚れが付着しないようビニール袋に入れ、次回の作業に備えて大切に保管しよう。

× チェーンカバーとリアフォークの間に“すき間”ができてしまう場合 ×

チェーンカバーを押し込んだとき、リアフォーク上面との間に“すき間”ができてしまう場合がある。これは11号に記載のタペットアジャスティングホールキャップ同様、押し込んだときにピンが削れ、かすが付着したためだ。カッターナイフを使って慎重に取り除こう。



チェーンカバーとリアフォークの間に“すき間”ができてしまった。



取り外してみると、丸で囲んである部分に削れたかすが付着している(個体差あり)。



カッターナイフを使い、付着した削りかすだけを取り除き、再度押し込もう。